

最先端システムを手に入れた。多彩な機能を、さらりと操作。

**DIGITAL SYNTHESIZER
(DS-310)
¥60,000**



**DIGITAL SEQUENCER
(DS-320)
¥65,000**

**DIGITAL KEYBOARD
(DS-202)
¥128,000**

＜DS-202＞

- 1 **パワー・スイッチ**
- 2 **モニター・スピーカー**／外部スピーカーなしで、演奏が楽しめます。
- 3 **エフェクト**
 - コース＝I・IIの2段切り換え。
 - ビブラート…デプス＝ビブラートの深さをコントロール。
 - ビブラート…ディレイスイッチ＝ディレイ・ビブラートがかかります。
 - サステイン＝ショート、ロングの2段切り換え。
- 4 **インストゥルメンツ**／10種類のプリセット音から、好みの音を選びます。
- 5 **オート・ベース・コード**
 - モード＝次の4種類のモードの切り換えをを行います。
 - ノーマル＝61鍵フルにひとつの音色で演奏
 - シンプル・フィンガー・コード＝オート・ベース・コード(自動伴奏)を使った演奏ができます。
 - キー・スプリット＝スプリット・ポイントを中心に鍵盤を上下2つに分けて、それぞれがう音色をセットできます。
 - サウンド・ミックス＝プリセットされている10音色から2音色を選んで、自由な割合でミックス。シンセサイザー(DS-310)でつくった音のミックスも可能。
 - ABCボリューム／バランス＝オート・ベース・コードのボリューム、キー・スプリットの低域部のボリューム、サウンド・ミックスの2音の割合をコントロール。
 - ホールド＝鍵盤から指を離しても、音が持続します。
 - オート・ベース・コードと、キー・スプリットの低域部に作用。
 - バリ

＜シンプル・フィンガー・コードの押え方＞ 簡略型はコードを知らない人でも楽にできる押え方。省略型はコードを知っている人がカンタンに弾きたい場合に、完全型は押えた通りの和音が出るので、景やマイナー9th, 13thなど複雑なコード音も出せます。

	メジャーコード	マイナーコード	7thコード	その他
簡略型	ルート(基準)	ルート+半音下	ルート+1音下	
省略型	ルート+長3度 または ルート+完全5度	ルート+短3度	ルート+短7度 ルート+長7度 ルート+完全5度+短7度	
完全型	ルート+長3度+ 完全5度	ルート+短3度+ 完全5度	ルート+長3度+ 完全5度+短7度	複雑なコード音も 出せます。



＜キー・スプリットのオクターブ・シフト機能＞ 鍵盤の右半分を1オクターブ下降させ、左半分を1オクターブ上昇させることができます。つまり、右半分と左半分が同じ高さになるわけで、キーボードが2台あるのと同じこと。連弾などに、楽しく使えます。

- エーション＝シンプル・フィンガー・コードで、もう1つ別のオート・ベース・コード・パターンを出します。
- コード・オフ＝シンプル・フィンガー・コードの時、コード音を消してベース音のみの演奏に。また、オート・ベース・コード部の鍵盤を、単音のベース鍵盤として使うこともできます。
 - オート・セット＝オート・ベース・コードのバックキンの音色、キースプリットの低域部の音色をセットするスイッチ。サウンドミックスの時も使います。
- 6 **リズム**
 - テンポ＝スタート/ストップ
 - シンクロスタート＝鍵盤を押すと同時にリズムをスタートさせます。
 - リズム・ボリューム＝オート・リズムのボリュームを調節。
 - リズム・セレクター＝8種類のリズム・パターンから、1つのリズムを選びます。
 - 7 **ファンクション**
 - キー・トランスポーズ＝上に1オクターブまで半音ずつ、下に1オクターブの移調が可能。従って、61鍵の上に12鍵、下に12鍵、合わせて85鍵と同じだけの音域をカバーできます。
 - トータル・ボリューム＝全体の音量を調節。

＜DS-310＞

- 8 **トーン・メモリー**／音をつくる前に1つのスイッチを選びます。同時に、つくった音を記憶・再生する時にも使用。4音色までメモリーできます。
- 9 **クリア・スイッチ**／トーン・メモリーのデータ内容を消去。
- 10 **スペクトラム**／スペクトラム(倍音構成比)を合成して音づくりのものになる(音色)をつくります。

- パートセレクター＝アタック、サステイン、リリースの各パートを選びます。
- LPF＝ロー・パス・フィルター・スイッチ。
- ステップ＝入力する倍音の位置をバックステップさせるスイッチ。
- インテンシティ＝各倍音の音量比率を操作。
- 11 **エンベロープ**／スペクトラムでつくった音色の(時間的変化)を入力します。
- エンベロープセレクター＝I～IV＝音量変化のエンベロープパターンを選択。
- ステップ＝時間入力するパートをバックステップさせます。
- タイム＝エンベロープの各パートの時間データを設定。
- 12 **LCD(液晶)パネル**／スペクトラムとエンベロープの入力データが表示されます。
- 13 **コントラスト**／LCDパネル表示のコントラストを調節。
- 14 **モード**／スペクトラム、エンベロープ、入力する方のモードを選択。
- 15 **セット**／スペクトラムのインテンシティと、エンベロープのタイムをセットします。

＜DS-320＞

- 16 **モード**／各モードの中から、1つのモードを選択。
- 17 **モード**／各モードの中から、1つのモードを選択。
- ブレイ＝インプットした曲を再生(演奏)するモード。
- マニュアル・インプット＝楽譜と照らし合わせながら、音を1つ1つ入力するモード。
- リアルタイム・インプット＝1声ずつ、実際に弾いた通りに入力するモード。
- 18 **ノート・セレクト**／入力または再生(演奏)させるナンバーを選択。
- 19 **スタート/ストップ/ブレイ**モードの時、演奏のスタート・ストップをコントロール。
- 20 **リピート/ブレイ**モードで、曲を繰り返し演奏。
- 21 **ライン**／入力するライン(1～4、コード)を選ぶスイッチ。ブレイモードの時は、不要なラインをキャンセルすることも可能。
- 22 **ライン・クリア**／ラインごとの入力データを消去するスイッチ。
- 23 **音符長**スイッチ群／マニュアル・インプットの時、音符の長さを決めるスイッチ群。
- 24 **音楽記号**スイッチ群／くり返し記号等を入力するスイッチ群。コードラインに入力します。
- 25 **LCD(液晶)パネル**／音程や音符長、小節数、コードネームなど、入力データが表示されます。
- 26 **コントラスト**／LCDパネル表示のコントラストを調節。
- 27 **シャープ・フラット**切り換えスイッチ／入力時に♯と♭の表示を決めます。
- 28 **エディット**／入力データの修正・変更を行うスイッチ群。
 - フォア/バック切り換えスイッチ＝フォアで前、バックで後ろに、ステップ送り。
 - メジャー＝小節ごとに、進めたり戻したりできます。
 - ステップ＝1つの音符記号ごとに、進めたり戻したりできます。
 - クリア・スイッチ＝その時点でLCDパネルに表示されているデータを消去。
 - 29 **デジタル・メモリー・カセット・ポケット**／曲をストックするためのデジタル・メモリー・カセット(RAMカセット)を装着するところ。